

泌尿器科 初期研修プログラム

必ず習得するアウトカム

1. 基本的な泌尿器科疾患のプライマリ・ケアが適切に行えるようになる
2. 適切な泌尿器科コンサルトが行えるようになる
3. 腹部超音波検査、泌尿器科のX線透視検査、膀胱尿道内視鏡検査を担当できるようになる

研修目的

泌尿器科領域の専門的知識および診断的、治療的手技を習得する。

研修目標

◇ 一般目標

泌尿器科の専門性を理解し、そのうえで泌尿器科の基本的な診断方法や手技を理解、実践する

◇ 行動目標

- ・泌尿器外来において、問診や病歴作成を行う。泌尿器科診察を正確に行う。直腸診で前立腺疾患を鑑別する。
- ・経直腸超音波を行い、その画像を読むことができる。導尿や経尿道的カテーテル留置を指導医とともに進行
- ・排尿の基本を理解し、適切に管理できる。周術期管理に参加する。代表的手術の執刀・助手として参加する。

◇ 研修期間中に経験可能な疾患・疾病、および手技

泌尿器科悪性腫瘍、前立腺肥大症、尿路結石、泌尿器外傷

：尿道留置カテーテル/導尿（10例）、経直腸超音波（10例）、尿管カテーテル留置・抜去（5例）、膀胱鏡（20例）

（3ヶ月の研修期間中に初期研修医が経験できる疾患と手技、および経験可能な具体的な数（数値目標）の記入をお願いします。）

研修方略

外来・入院患者の診療を担当する。外来患者の検査・処置を行う。入院患者の手術に参加する。

研修評価

レポート、観察記録：指導医、看護師、他コメディカル

週間予定表

	午前	午後	夕方
月	カンファレンス・回診、手術	手術	回診
火	カンファレンス、回診 手術	手術/外来	回診
水	カンファレンス、回診	前立腺生検	回診
木	回診、外来	透視検査	回診
金	回診、外来	投資検査/ウロダイナミクス スタディ	回診

（表は、適宜加除修正ください。）

指導責任者および指導医

指導責任者： 海法康裕
指導医： 伊藤淳
〃： 及川真亮
〃： 久木元隆

学生（4～6年生）や他科研修中研修医のカンファレンスの参加の可否

参加可 ・ 参加不可

研修医発表会、学会発表に対する指導体制

教授以下5名の指導で学会発表可

同時期に受け入れ可能研修医数（1クール：1～3ヶ月）

1 名/1クール